

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度高松市人権施策推進懇談会（第1回）
開催日時	令和3年7月28日(水) 午後1時30分～
開催場所	高松市役所 13階 大会議室
議 題	(1) 会長、副会長の選任について (2) 高松市人権教育・啓発に係る施策の推進状況について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	綾田委員、石川委員、小川委員、喜岡委員、近藤委員、齋藤委員、姜委員、角田委員、萩池委員、福井委員、PAGE T.委員、松本委員、山口委員 (欠席5名)
傍 聴 者	0人（定員5人）
担当課及び 連絡先	市民政策局 人権啓発課（Tel1839-2292）

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

議題（1）会長、副会長の選任について

事務局より選任方法説明

【委 員】

委員からの推薦により、会長には喜岡委員を選任。

喜岡会長の指名により、副会長に松本委員就任。

議題（2）「高松市人権教育・啓発に関する基本指針」に係る施策の推進状況について

事務局より提案趣旨及び資料内容説明

委員からの質問・意見

【委 員】

新型コロナウイルス感染症の影響により、行事や啓発活動が昨年来から中止になっている。

令和3年度も中止が多いが、コロナ禍でどういう活動をすればいいかなど実施できる方法を真剣に考えていかなければいけない。

【委 員】

男女共同参画市民フェスティバル事業の講演会において、コロナ禍で少人数での講演を複数回実施したことは評価できるので、継続して実施してもらいたい。

【委 員】

LGBTという新しい人権課題に対して多くの人が興味を持っている。オンラインやDVDの視聴による啓発活動も良いが、講演時間を短縮しても良いから生の声を発信できる啓発活動の体制を設けていただきたい。

会議経過及び会議結果

【委員】

毎月家庭に届けられている広報は情報発信ツールとなっているため、今後もページを増やすなど、周知啓発活動に活用していただきたい。

【委員】

ケーブルテレビも有効な啓発活動手段となっているため、今後も周知啓発活動に活用していただきたい。

【委員】

高松市に公共W i - F i などの公共インフラはあるのか。

公共インフラがあれば、携帯端末などで誰もが手軽に情報が得られるので、設置場所を増やしていただきたい。そうすることで、情報発信の方法の選択肢が広がる。

【委員】

人権啓発等の各種事業の実施に当たり、各事業の目的、目標を認識しているのか。

誰もが住みよいまちづくりを進めるためには、啓発の目的を自認し、目的にふさわしい手法で啓発活動を進めてもらいたい。

また、コロナ禍により効果測定の弱点が露出したので、今後の効果測定は数値管理のみにならないようにしてもらいたい。

議題（3）その他 今後の人権施策推進懇談会の開催方法について

【委員】

懇談会において、各分野で活躍されている方の現場の意見を聴取することは非常に重要なことである。回数が1回になるとしても、それに代わる新たな取り組みが行われることを期待する。

会議経過及び会議結果